



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：市川修次 副会長：唐澤 稔 幹事：宮下 健 公共イメージ向上委員長：加藤 篤



世界に希望を生み出そう

2023-2024 国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

2023-2024 RI会長
 ゴードン R.
 マッキナリー
 <スコットランド、
 ウェストロージアン>



第1697回例会 令和6年4月23日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 伊那中央ロータリー讃歌 平澤理ソングリーダー



■ 会長挨拶 市川修次会長



先日の創立記念例会及び観桜会にはご苦勞様でした。武井さんが居ないと如何に大変かと思いましたが、不手際等ありましたが、無事に終わらせる事が出来ました。ご協力ありがとうございました。

創立記念例会の時に商工会議所の唐木会頭から、静岡県の川勝知事が辞任を表明しましてリニアの開業も早まるのではないかといい様な話がありました。当初の予定では 27 年でしたが川勝知事の反対で 34 年以後となり、そして辞任に伴い早くなるというような事ですが、早くなると言っても資材が間に合わないという話もあり、特に生コンなどは生産してから 90 分以内に打設しなければならない、そうすると生コン工場には生産量には限りがある訳で早めたくても早められない、まだまだ問題も多くあるようです。

先日の新聞に「アルテミス計画」という記事が載っていました。「アルテミス計画」とは今から 50 年程前の 1970 年代にありましたアポロ計画、それ以来の人を月に送り込む計画で、2 年後に最初に人類が月面に降り立ち、それから 2 年後の 2028 年に日本人の宇宙飛行士 2 名を送るという計画だそうです。この計画は単に人が月の上に降り立つだけではなく周回基地や滞在拠点などを建設する予定で、すでに日本人の飛行士候補 7 名が選ばれており、中には長野県川上村出身で宇宙ステーションに滞在歴のある油井亀美也さんも候補に選ばれているとの事です。日本人の月面着陸はトヨタ自動車などが開発する月面探査車の「ルナクルーザー」という車がアメリカの期待以上だったという事もひとつの理由だそうです。

2040 年代には有人の火星探査も目指すとの事で、遅々として進まない東京大阪間のリニア問題に対して、素人目には技術的には数倍も上であろうと思われる月から火星に行く「アルテミス計画」のその具体的な速さには感心します。日本の優れた技術の結晶として早い時期でのリニアの開通を願いたいものだと思います。

■ ニコニコボックス

◆市川修次

伊藤歩美会員、本日は卓話をよろしくお願い致します。

◆宮下健

伊藤歩美さん、急な卓話依頼を快く引き受けて下さり有難う御座います。
 また本日は、幹事報告以外にも代理人出席での報告や代読含め 4 回も演台での報告があります。今更ですが、幹事は結構大変ですよ。

- ◆松田靖宏 伊藤歩美会員、卓話よろしくお願ひいたします。
また、本日は地区研修・協議会報告の続きをしていただきますので、参加された皆様よろしくお願ひいたします。
- ◆井上修 私のワイシャツを注目下さい。ネクタイ無しで失礼ですが、これでも百貨店のオーダーメイド。新しいスタイルだそうです。
- ◆事務局・武井 先週はお休みさせていただき申し訳ございません。まさかこのタイミングでコロナに罹るとは！自分でもビックリでした。毎週、例会場で会員の皆様にお会いできる事の幸せを実感しました。

■ 幹事報告 宮下健幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・4月14日(日) 米山奨学生オリエンテーション・カウンセラー研修の報告 三澤俊明米山記念奨学委員長



4/14(日)に松本中央公民館で開催された米山奨学生カウンセラー研修会に参加して参りました。

今回の研修会で多くの時間を要したのが、奨学生に対するハラスメント行為についてです。昨年も全国的にはクラブ内で数件被害があったそうで、それを踏まえ、『RIの方針：Zero Tolerance/容認なし』に基づき、『相手が不快と思ったらハラスメント「そんなつもりはない」は通じません!』を合言葉に取り組んで欲しい旨の説明がありました。そこで、ハラスメントについて皆さんにもお願ひです。

◆パワーハラスメントにおける注意事項

- 自分の意見を一方的に押し付けない、奨学生の話に耳を傾ける
- 不安や恐怖心を与える言動や状況に注意を
- 私的なことに、過度に立ち入らない

◆セクシャルハラスメントにおける注意事項

- 不必要に、異性の奨学生と二人きりにならない
- お酒を無理に勧めない、酔って奨学生と接しない
- ロータリー会員として品位ある言動を

以上、よろしくお願ひいたします。

・4月21日(日) インターアクト地区研修・協議会の報告 宮下健幹事



4月21日(日)松本市勤労者福祉センターにてインターアクト地区研修協議会が開催され、井上インターアクト地区委員の代わりとして参加させて頂きました。伊那西インターアクトクラブからは生徒4名・顧問教師2名の参加です。

テーマは「インターアクト活動を知る」～仲間づくりから始まる活動の輪～と題して松商学園 IAC 主動の下に 81 名のインターアクト生、青少年交換留学生、顧問教師、

ロータリアンが集いました。

白鳥ガバナーエレクトからは RI 会長テーマ「ロータリーマジック」についての説明や、次期地区テーマの「ロータリーは、あなたと私が出会うところ。次の世代に何をわたせるか、共に考え行動しましょう」についてもお話がありました。

「次の世代に何をわたせるか」について、コロナ禍であった小学生の運動能力の低下により、歩く姿勢に注目し「歩行ケア協会」と協力し青少年活動を実施して行く考えだそうです。





本日は宜しくお願い致します。

私の職業はメガネ屋です。本日はメガネについてお話させていただきます。メガネは一人一人に合わせて作製するオーダー品です。そんなメガネを作製するにあたり重要な項目が5つあります。「度数」「レンズ」「フレーム」「加工」「フィッティング」です。

1 「度数」

使用される方が何の目的でメガネを使用したいのか、何に困りそのことを解決できる為にはどういった度数が必要なのかを導き出すために「視力測定」という手段を用います。視力測定がいい加減であったり出てきた数字が不正確だと意味がありません。メガネをつくる上で最重要事項でもあります。

2 「レンズ」

導き出した度数を参考にレンズ選定をします。レンズメーカー一社当たり平均数千種類のレンズを作製しています。そんな膨大の種類の中から最適レンズをご提案するのも大事な仕事です。価格も様々で遠方～近方の範囲である程度の距離をカバーできる累進レンズ（累進レンズには遠近両用 / 中近両用 / 近々と分類されます）はレンズだけで10万を優に超える物もあります。

ただ絶対に言えることはレンズの価格は品質に比例します。そして各レンズメーカーは量販店に卸すレンズと専門店で卸すレンズを分けています。特に高価格帯の累進レンズになればなるほど使用される方に合わせたより細かい設計が必要になります。高性能レンズを扱うにはそれなりの知識と技術と経験が必要となります。量販店で扱うレンズと専門店で扱うレンズは同じではないという事をご理解ください。

3 「フレーム」

メガネフレームは多種多様。べつ甲だとか金無垢といった元々素材が高価なものは別にして一般的なフレームでも数千円～10万近くするもの様々です。価格の差は複合的要素がありますが、修理対応可能か否かは大きい要素といえます。安価なフレームはそもそも修理する前提では生産されていないからです。それに比べて数万するフレームは修理対応はもちろんですが部品交換も可能です。本体に加え各交換用パーツも作っています。

フレームに関してはご自身で実際手にとってみて顔にのせてみての感触、軽さや掛け心地といったものを体験できるので参考にしてみてください。ただし、選択したフレームによってはレンズの性能を十分発揮できない場合があります。お顔に対して、似合う似合わないに関係なく不必要に大きすぎたり、小さすぎたりだと使い勝手の悪いメガネに仕上がる場合があります。

こういった度数の方でこのようなお顔だちの方にはこういったフレームが最適であるというアドバイスができますので、フレーム選びの際はぜひ専門家のアドバイスを参考にしながら決めてほしいものです。

度数が決まりました。それを基にレンズも決めました。フレームも選びました。ここで初めて 4「加工」が必要になります。

そして出来上がったメガネを一人ひとりのお顔に合わせる 5「フィッティング」が必要になります。自分に合ったメガネを作るには上記5つの項目すべてが必要なのです。

○最適な度数を決めレンズも良いレンズを選びました。ただフレームがお顔に合ってなく結局、適正な位置で掛けられない為に使い勝手が悪いメガネになってしまった。

○フレームもレンズも良いものを選びました。掛け心地は最高です。でも肝心の度数が合っていないために使えません。

等々どれか一つでも不具合があると快適に使えるメガネとはならないのです。眼鏡店は昔から「半医半商」と考えられていました。頭痛や肩こり、吐き気といった体調不良の原因が「眼」からくる場合があるからです。そして自分の体調不良の原因が「眼」からだとは思わないので内科や脳外科を受診したり整体に通ったりします。自分に合わないメガネを長期間装着しても体調不良を起こすことがあります。メガネはある意味医療器具という考えの根底はここにあります。

ただ安価なメガネ店が市場に参入してきてからというもの、医療器具という概念よりはファッションの一部という要素が強くなってきています。視力測定機器も操作が簡単でかつ高性能になっているので正直基礎知識がない人間でもボタン操作であらかたの度数が出せてしまうのが現状です。

本来、自分の眼にメガネを合わせなければならないのに、合わないメガネを使用し続けると自分の体（眼）

がメガネに合わせるといふ事が起こり得ます。安易なメガネづくりはご注意ください。しかし個人的には安価なメガネに真っ向反対ではありません。きちんと使用する方の眼に合ったメガネであれば何の問題もないと考えるからです。

ただ、一般消費者からすれば眼鏡店を選ぶポイントとして従業員の技術の明確な基準が分かれば尚良しと思われることでしょう。2022年11月、国家検定資格「眼鏡作製技能士」が誕生しました。これにより眼鏡店従業員に対する法律上の身分保証が確立されたといえます。今後、眼鏡店選びに困ったら眼鏡作製技能士在籍かどうか店選びのポイントの一つに加えてください。私も眼鏡作製技能士1級保持者です。もしメガネでお困りごとがあればお気軽にご相談ください。

また当店はジュエリーの取り扱いもしております。秘密厳守いたしますので内緒の贈り物をしたい場合もご相談にのります(笑)

本日はご清聴ありがとうございました。

■ **出席報告** 会員数48名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者22名 事前メイク1名
出席率54.76% 前回出席率 修正なし

■ **地区研修・協議会の報告** 令和6年4月7日(日) オンライン開催

② **会員増強部会** 橋爪麻人 会員増強・プログラム委員長 (代読:宮下健幹事)

- ・地区会員増強委員長は信州友愛の金児進氏。
- ・委員長の方針として、DEI(多様性、公正性、包括性)推進による若い世代と女性の確保。
- ・衛星クラブ又は何かに特化したクラブ内クラブでの魅力の発信。
- ・入会3年未満での退会者30%への傾向と対策。
等の必要性についての説明がされました。

③ **職業奉仕部会** 三澤俊明 職業・社会奉仕委員長



4月7日のWeb会議で、職業奉仕委員会では以下の目標によって、次年度事業展開していくことが決まりました。

○委員会の目標・目的

友愛と寛容の精神でいろいろな違う職種の人達との質の高い異業種交流によって自己研鑽の修業の場として己の人間力を高めて、自分の職業を通じて人のため、地域のため、世の中のために貢献する。

○今年度の計画・重点事業

「ロータリーから信州を元気に」するため会社や地域で「心と体の健康」を推進する。

○委員会・事業日程

2024年6月29日(土) 於:松本商工会館

「地区職業奉仕委員会・クラブ職業奉仕委員会 合同委員会」開催

2024年11月24日(日) 於:ホテルメトロポリタン長野

「職業奉仕セミナー」開催

⑤ **社会奉仕部会** 小川貴子 職業・社会奉仕副委員長 (代読:宮下健幹事)

○要旨

小林委員長より、次年度計画や地区内各クラブの活動実績情報の活用などについて話があり、その後成田PG(カウンセラー)より「ロータリーとして、各地域にとって必要な活動を各クラブで知恵を出し合いながらできることを考えてほしい」という趣旨の話がありました。各地区から各クラブの方針や活動事例などの紹介もありました。

○小林委員長

小山社会奉仕委員長が、昨年「各10年間活動・各クラブアンケート」を実施した結果について一覧化された情報を各クラブへ情報共有し、地区として取り組み、自クラブの社会奉仕活動の計画策定に参考にしたい。今後各クラブの実施内容も継続的に情報収集し地区で集積していきたい。10年間で300以上の事業（財団の補助金を活用したもの）が実施されている。補助金を使わずに実施したものもあり、それも含めてアンケートにまとめている。

○成田 PG よりコメント

各クラブにとって社会奉仕活動がどういうものかを考えてもらうのが大切。

ロータリーから地域社会を元気にできるか、地域社会にとってロータリーが必要と思われる活動をみんな考えていく。

各クラブで地域性を鑑みると活動は異なっていくものと思う。みんな楽しくやりながら地域活動を考える、できる範囲で無理をしないで知恵を出し合っていくことが社会活動と思うので、難しく考えずに、実施すべき。

社会奉仕だけでなく、クラブ、地域社会、社会奉仕を考えることがよいと思う。

○各クラブ事例、計画など

成田 PG：能登半島地震を受けて、お祝いのプレゼントを北陸のものにするなどこれらも一つの社会奉仕。

長野：地域の子供や、緊急性が必要なことに対して計画を作っていく。

塩尻：能登への義援金をすぐさま集め、特殊学級の子供たちが使える文具、教材を寄贈する。

上田：費用負担がかかる事業のイメージがあるが、負担を減らしつつできる事を考えていく。

飯田：児童養護施設への支援を実施。

社会奉仕＋青少年奉仕＋国際奉仕をまとめた活動へしていく予定。

木曾：国道沿道の美化整備の手伝い。

○まとめ

小林委員長

白鳥ガバナーの方針の一つに、歩行ケアがある。

強制することはないが、折井ガバナーの古着でワクチンを進めた様に、歩行ケアの活動も各クラブでやるか、複数クラブで合同でやるかなど社会奉仕活動の一環としてとらえてやるようであれば支援することも一つ。

強制ではないし、補助金は青少年の補助金を活用すると思うが、白馬 RC が手を挙げたと聞いており、松本 RC でも白馬 RC と連携しやっていく方向。

今後委員会を超えた活動を考えていかなければならないし、他の奉仕団体との連携していくことも必要。自クラブ内だけでは広がりが見えない場合には、ロータリーを超えたところでの活動も松本 RC でも検討している。

成田 PG

大事なことは国際社会で何が起きているかを見ていると、国際連合が無力化している。この様な今だからこそ、国際ロータリーの活動が重要。ロータリーが国際情勢にどの様な活動をしているかなどの動きをよく見て、自分たちの住んでいる地域を元気にすることを考えながら、国際大会の情報を活用していくことが重要。

シンガポールでの国際大会に600名の日本人朝食会を開催すると目標にしたところ、730名強の登録があった。日本のロータリアンは世界を考えているんだなと思った。国際大会に参加する人数は日本が第1位。

地域、自クラブ、世界の動きに関心をもって、国際連合に貢献できれば良いと思う。

⑥青少年奉仕部会 伊藤歩美 青少年奉仕副委員長



青少年奉仕部会（8小委員会）

○青少年交換小委員会

青少年交換留学生の募集～実行
次々年度 4名程度募集予定

○ライラ小委員会

2024年9月 岡谷にて開催

○インターアクト小委員会

各インターアクトクラブの活動支援

地域のリーダーとなれる青少年の育成を図る

6月インターアクト地区大会 松本工業高校 / 南安曇野農業高校 合同開催

○ローターアクト委員会

5あったクラブは現在2クラブ（諏訪・飯田）のみ

大学でのローターアクトクラブ設立を目指す

○学友委員会

「学友」経験者から話を聞きメンバーの意識向上を図る・・・そういった事業（機会）を各クラブで行ってみても良いのでは

○国際室

各クラブからの国際事業に関する問い合わせ対応

○国際奉仕委員会

○危機管理委員会

目標：ロータリアンが危機への正しい理解を持つこと

具体例：

☆「手に手つないで」を歌う場合手を繋がずに空で手を振る（もしくは相手に手を繋いで良いか了承を得る）

または他のロータリーソングを歌う

☆密室で二人だけで会話はしない

☆ハグは禁止

☆酒席を伴う会合は配席に注意（酒が入ると危険な人物を事前に把握しておく）

☆未成年対象の宿泊が伴う行事等は地区事務所へ必ず届出をすること

○（地区）会員増強委員会 池上幸平 地区会員増強委員会委員（代読：宮下健幹事）

「会員増強」の意味と意識を浸透させ、単なる数字合わせの会員の増員ではなくクラブの維持、継続の為に会員スキル、モチベーションを向上することを目的とし、クラブや委員会の連携による情報の共有化と合理化されたクラブ運営の為に会員が一丸となって年間の戦略計画を立てて、それにおける検証を行うことで、さらなるステップアップを目指します。

2026年度までに2600地区内の会員数を2000名に回復し、クラブ数55となる目標を掲げる。「会員数100名増・クラブ数5クラブ増」

○（地区）インターアクト小委員会 井上修 地区インターアクト委員会委員



「2024～2025年度のための地区研修・協議会」青少年奉仕部会報告です。

参加者は奉仕部会と委員長で43名程。議事は脇田国際委員長の司会で

①青少年奉仕部会会長、②RYLAの委員長、③インターアクト委員長、④ローターアクト委員長、⑤学友委員長、⑥国際室長、⑦国際奉仕委員長、⑧危機管理室室長、より事業報告と新年度の計画についての話がありました。

殊更危機管理は学生や女性へのハラスメントの説明がありました。ロータリアンの資質を疑われ且つクラブへの信用を失墜する大事です。

○次年度「地区の方針」等について 熊谷健 会長エレクト



最後に、国際ロータリー第2600地区の「2024-2025年度地区方針」が事務局に送られてきましたので、会員の皆様に、主な部分をご披露したいと思います。

・地区標語「ロータリーは、あなたと私が出会うところ。そして、次の世代に何をわたせるか、共に考え行動しましょう。」

・スローガン「LIFE 5（5%アップ）」

・地区重点行動計画として、RIの行動計画を理解し、楽しいクラブ作りのために、各クラブに

①戦略計画委員会を設置、

②マイロータリーのクラブセントラル（計画目標）への記入、

③3年間の目標と計画3-year Targetsの立案等、を要請しています。

・また、新しい層のロータリーの友達を増やすために、

①地区で100名純増、各クラブでは会員の5%アップの達成、

- ②地区内に新クラブを5つ結成、
 - ③小学校の授業への奉仕計画等を挙げ、クラブに会員増強を要請しています。
- ・その他、地区委員会の連携強化策として
- ①DEI 委員会の新設、
 - ②新会員セミナーの新開催、
 - ③各委員会の連携強化等を挙げています。

詳しくは、添付の資料をご覧くださいと思いますが、我がクラブもこのような地区方針の下、クラブ運営を行ってまいりますのでご協力をお願い致します。

■ 点 鐘

13:30

次回例会

- 5月14日(火) 点鐘/12:30 場所/海老屋料理店
- ・クラブフォーラム「青少年奉仕委員会」伊那西 IAC 活動紹介
 - ・地区研修・協議会報告の続き
 - ・各委員会引継ぎ